

「国道1号手越原交差点の改善に向けた 提案を地域の皆さんと考えます」

手越原地区

交通安全対策勉強会



2006/12/07
国土交通省 中部地方整備局
静岡国道事務所

01 勉強会の 目的

国道1号手越原交差点は、**5枝の変則的な交差点**となっていることから、朝夕には交通集中による激しい渋滞が発生し、交通事故も多発しています。

また、付近には小中学校もありますが、**十分な歩行空間が確保できていない**など、厳しい交通環境におか

れています。

このような手越原交差点で顕著化する様々な問題に対し、地域と行政の共通認識のもとで、**安全・安心な交通環境の確保**に向け「**手越原地区交通安全勉強会**」を設立し、**協働作業**により「改善を目指した提案」を作成します。

02 国道1号 手越原交差点の 現状

- 朝夕ピーク時に渋滞が発生(写真1・2)
最大渋滞長 **A枝**1,300m(7:50~8:00)
C枝 140m(8:30~8:40)
- 国道1号上り側、藤枝静岡線で乱横断発生(写真3)
- たまり空間が小さいため、車両左折時に滞留する歩行者・自転車が危険な状態にある(写真4)
- 近年では12件/年(H14~17)の死傷事故が発生

